

第3次健康こうた21計画

令和7年度～令和18年度
子どもから大人まで生涯を健康に



令和7年3月
幸田町

はじめに

近年、私たちを取り巻く環境は大きく変化しております。新型コロナウイルス感染症への対応を通じて、私たちは改めて健康の大切さと、地域社会における支えあいの重要性を実感することとなりました。また、デジタル化の進展や生活様式の変化に伴い、運動不足やメンタルヘルスの問題など、新たな健康課題も顕在化しています。



幸田町は、子育て世代が多く居住する活気あふれる町です。若い世代の健康づくりは、次世代を担う子どもたちの健康な未来への投資でもあります。働きざかり世代の健康維持を支援し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進してまいります。

また、シニア世代の皆様が住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らし続けられる町づくりも重要な課題です。介護予防や生きがいづくりを通じて、健康で活動的な生活を送り、人生の最期まで穏やかに過ごせるよう、地域全体で支える社会の構築を目指します。

本計画では、平成26年3月に策定しました第2次健康こうた21計画の基本理念である「幸せな楽しいくらしはまず健康」を引き継ぎ、国の「健康日本21（第三次）」計画の方針を取り入れた、健康づくりに関心の低い方々も含むすべての町民が自然と健康になれる環境づくりを目指します。また、様々な事情で健康づくりに取り組みにくい方々への支援を強化し、誰一人取り残さない健康施策を展開してまいります。

しかしながら、この計画は行政の取組だけで実現できるものではありません。町民の皆様一人一人が「自らの健康は自らが守る」という意識を持ち、主体的に健康づくりに取り組んでいただくことが何より重要です。地域関係団体、企業、学校、行政など、多様な主体が連携して一丸となって取り組むことで、本計画の大目標「子どもから大人まで生涯を健康に」が実現できると考えます。

最後に、本計画の策定にあたり、ご協力いただいた皆様をはじめ、貴重なご意見を賜りました町民の皆様へ深く感謝申し上げます。

令和7年3月
幸田町長 成瀬 敦

目 次

序章 第3次健康こうた21計画の概念図	1
第1章 計画の策定にあたって	2
1 計画策定の趣旨	2
(1) 国の施策の動向.....	2
(2) 県の施策の動向.....	3
(3) 幸田町の施策の動向.....	3
2 計画の方向性	4
幸田町の健康課題.....	4
3 計画の位置づけ	5
4 計画の期間	6
5 SDGsの視点を踏まえた計画の推進	6
6 計画の策定体制	6
(1) 策定委員会及びワーキング部会等の開催.....	7
(2) アンケート調査の実施.....	7
(3) ヒアリング調査の実施.....	7
(4) パブリックコメントの実施.....	7
第2章 幸田町の健康を取り巻く現状	8
1 人口等の状況	8
(1) 人口の推移.....	8
(2) 世帯の状況.....	10
(3) 出生と死亡の状況.....	11
2 健康の状況	14
(1) 特定健康診査の受診状況.....	14
(2) 特定健診・特定保健指導情報データからみた健康状況.....	15
(3) 後期高齢者健康診査の受診状況.....	22
(4) がん検診の受診状況.....	23
3 医療・介護の状況	24
(1) 医療費の状況.....	24
(2) 生活習慣病に係る医療費等の状況.....	25
(3) 要介護認定者の状況.....	27
第3章 計画の基本的な考え方	28
1 基本理念	28

2	大目標	28
3	基本方針（視点）	29
4	計画の体系	30
第4章	健康づくりの展開	31
1	栄養・食生活	31
2	身体活動・運動	36
3	休養・こころの健康	41
4	飲酒	46
5	喫煙	51
6	歯・口腔の健康	54
7	健康診査・生活習慣病	57
8	次世代につながる健康（妊娠・子育て）	63
9	社会で支える健康づくり	69
10	分野を横断した取組	73
第5章	計画の推進	74
1	推進の基本的な考え方	74
	（1）町民一人一人の役割	74
	（2）地域の役割	74
	（3）行政の役割	74
2	計画の推進体制	75
3	計画の進捗管理	75
第6章	第2次健康こうた21計画の最終評価	76
1	評価方法	76
	（1）アンケート調査の概要	76
	（2）判定区分	76
2	評価結果のまとめ	77
	（1）指標の評価結果	77
	（2）個別の指標状況	80
参考資料	99
1	計画策定の経過	99
2	第3次健康こうた21計画策定委員会名簿	100
3	第3次健康こうた21計画推進ワーキング部会等名簿	101

序章

第3次健康こうた 21 計画の概念図

基本理念

幸せな楽しいくらしはまず健康
～からだづくり ころろづくり 未来に向かう絆づくり～

現状

生活習慣の改善
意欲が低い



自分らしい最期を迎える人が多い
(老衰死)

高血糖の人が
多い



運動習慣の
ある人が少ない

肥満、
脂質異常が多い

今後の取組



年齢による健康課題を
踏まえた
ライフコースアプローチ※
の推進



生活習慣の改善と
生活習慣病の
発症・重症化予防への
取組



社会で支える健康づくり
～自然に健康になれる
環境づくり～

目標・将来像

大目標

子どもから大人まで生涯を健康に

糖尿病をはじめとした
生活習慣病を予防しながら
健康的に生活できる



最期まで自分らしく
いきいきと生活できる



幸田町では、老衰による自然な最期を迎える方が多い一方で、特定健診の結果や生活習慣に関する調査から、血糖値の高い人（高血糖）が愛知県の平均より多く、運動習慣のある人が少ないことなどが分かりました。そのため、働きざかり世代の生活習慣の改善が重要であり、その基盤となるのは、子どもの頃からの生活習慣の積み重ねです。

そこで、本計画では、「子どもから大人まで生涯を健康に」を大目標とし、ライフコースに応じた健康づくりを推進します。運動習慣の定着や生活習慣病予防の取組を進めるとともに、健康的な環境づくりを通じて、自然に健康になれる町を目指します。

※ライフコースアプローチ：胎児期から高齢期に至るまでの人の生涯を経時的に捉えた健康づくりの考え方